

ふれっど

2020
第49号

【ひろがれ、かさなれ、むさしののわ】



●えすぶれっど★スペシャル

ようこそ武蔵野へ
～新人研修で育てる未来の力～

●福々刻々

新型コロナウイルス感染症

ようこそ武蔵野へ

～新人研修で育てる未来の力～

えすぷれつそ
Special

新型コロナウイルスで世界中が不安と混乱を感じ始めた、いつもと違う今春。そんななかでも、多くの新しい仲間を迎え入れることができました。今号は未来の力となる新人職員をご紹介します。



ソーシャルディスタンスに配慮して換気の上で新人研修を行いました



社会福祉法人武蔵野の新人職員 20 名

● 新人研修日程

	テーマ
1日目	法人について学ぶ ・理事長講義 ・法人の規定・規則 ・法人の概要 ・各施設へのあいさつ及び見学
2日目	事業について学ぶ ・障害者支援の事業 ・高齢者支援の事業 ・こども支援の事業 ・相談支援の事業
3日目	対人支援の基礎を学ぶ ・バイタルサインチェックの実習 ・感染症予防対策実習 ・虐待防止 ・接遇

受講生の声

「人生に関われる仕事」。ご利用者の人生の登場人物としての私はどう映り、どう感じているのか考えさせられました。



今では実際に現場に入って活躍しています！



受講生の声

施設内で支援を完結させるのではなく、地域とのつながりを作ること、地域に貢献する一員としての姿勢を大切にしていきたいです。



2020年4月、社会福祉法人武蔵野は16名の新たな職員を迎えました。それに伴い4月1日～3日の3日間、昨年度途中で採用された職員4名を含めて計20名を対象に、新人職員研修を行いました。この研修の目的は当法人の理念や事業を理解し、これから法人職員の一人として働くにあたっての心構えと意識を高めることです。あわせて、同時期に採用された職員をお互いに知り、励ましあう機会にもなっています。

3日間の研修の後は、それぞれ配属された事業所での勤務が始まります。対象とするご利用者、業務の内容も様々、自分と違う場所で勤務する仲間がいるということは、とても心強く、また良い刺激をうけることもできます。

現在は、それぞれの場所で先輩職員から、実際の業務の中で必要な知識やスキルを教わり、関わるご利用者の方々と学ばせてもらいながら、新人職員は日々、実践経験を積んでいます。新人職員を迎えた私たち職員も、「人に教える」「人に伝える」を通して、自身の新たな課題を見つけ、学びを深めることでお互いに日々成長していきたいと思っています。

A1 特別支援学校に通い始めた弟が専門的な教育を受け、成長していく姿を見たことがきっかけです。「周囲の人の関わり方によってこんなに変化するのか!」と実感し、おもしろそうだと思い選びました。

A2 ご利用者一人ひとりが毎日違う表情を見せてくれることに、心を揺さぶられます。この現場でしか感じるることができない「変化」「人間らしさ」「人生」を考えさせてもらえることが、やりがいに繋がると感じています。

A3 ルールや支援者の都合を優先させるのではなく、目の前にいるご利用者の意思を汲み取り、それを尊重した支援ができるようになりたいです。

ゆとりえ (特養ホーム)

川澄奈緒さん

A1 昔から子どもや高齢の方と関わるのが好きだったことと、自宅で祖母の介護を行っていたことがきっかけです。介護中に福祉職の方々に沢山支えていただいた経験から、自分もそういった存在になりたいと思うようになりました。

A2 初めは緊張していましたが、本格的に支援に入らせていただくようになってからは、ご利用者の笑顔やその方らしさを知る機会が増え、嬉しく感じています。これからもっとご利用者の素敵なところを知っていききたいと思います。

A3 ご利用者の気持ちを汲み取り、一人ひとりに寄り添うことのできる支援者になりたいです。また、ご利用者の方はもちろん、そのご家族と一緒に働く職員からも信頼していただけるような支援者に成長していきたいです。

わくらす武蔵野 (入所施設)

大矢晃子さん

A1 大学在学時に実習で発達障害のあるお子さんたちと関わった時、「もっと近くで、長い目で支援したい」と考えて選びました。

A2 前職は自閉症の入所施設で、ご利用者の要望を実現できない状況が多くてもどしかったです。現在は身体障害を持つ方のGH配属で、ご利用者の希望を実現できるように、さまざまな立場の人と協力して働けることが新鮮です。ご利用者や先輩職員の皆さんに温かく支えて頂いて、楽しく仕事ができます。

A3 ご利用者が安心して生活ができるように、一人ひとりの気持ちに寄り添って、丁寧な支援ができるようになりたいです。

リエゾン Renga (グループホーム)

山田祐里奈さん

新人紹介

Q & A

Q1 福祉職について理由は何ですか?

Q2 入職してみてどのように感じましたか?

Q3 どんな支援者になりたいですか?

A1 高校の夏休みに、地域の老人ホームでボランティア活動に参加したことがきっかけです。そこで職員は、季節のイベントや年間行事など「ご利用者が楽しめる環境作り」を第一に考えていたので、その姿勢に惹かれて選びました。

A2 日々得られるものが多く、大変ですが楽しいです。個々に適した支援とは何かを考え、毎日試行錯誤しています。また、ご利用者のことや業務で分からないことがあると、職員が丁寧に教えてくださるので非常に助けられています。

A3 ご利用者の立場に立って考えることができる支援者になりたいです。ご利用者一人ひとりの「その人らしさ」を大切にしながら、良い関係を築いていきたいと思っています。

デイセンター山びこ

馬場 泉さん

A1 前職は他職種の営業でしたが、自分らしく働きたいと思って転職しました。大学のサークルで、発達障害のある小中学生の余暇活動のサポートをしていました。一緒にサポートする仲間のまっすぐな姿が印象的でした。

A2 ご利用者の皆様がフレンドリーでコミュニケーションが活発だと思いました。まだ目の前のことに一生懸命な状態ですが、一日を終えて振り返ると「今日も楽しかったな」と思えるやりがいのある仕事です(菓子箱折りなどの受注作業を担当)。

A3 ご利用者の気持ちに寄り添える人になりたいです。未熟なところは周りの職員とすり合わせながら、ご利用者と同じ目線に立って気持ちを分かち合いたいです。

武蔵野福祉作業所

渡邊こずえさん

福々刻々

新型コロナウイルス感染症

政府の要請で、チャーター便が武漢を発つたのは1月29日早朝のことでした。この時点で多くの人は新しい感染症に関心をもったわけですが、自分たちの生活がこんなに変化するとは思わなかったのではないのでしょうか。その後感染拡大を阻止あるいは遅らせようとする対策を国や都が講じ、厳しい生活の制限が生まれました。世界各国の感染対策も同様でした。ヒト・モノ・カネの流れを加速させてきたグローバルゼーションが機能不全となり、経済を今後どう維持・発展させるのかという問題が新たに浮上しました。これまで経験したことのない状況が生まれ、まだ解決の道半ばです。

この間、福祉施設や病院での集団感染の拡大が報道され、ひとたび感染が起これば想像を超えるリスクを抱えねばならないということを突き付けられました。感染がいつ起きるかわからない中で、私どもの現場も強い緊張を持続させる日々が続きました。特に特別養護老人ホーム・障害者支援施設（入所）・グループホームといった24時間ケアが求められる事業所では、「密」を避けることができない状況下で

のサービス提供となりました。ローテーション勤務の一人ひとりが個人のレベルでも高い倫理性を求められました。日勤帯の職場も同様で、ウイルス（SARS-COV-2）の増殖を防ぐ根本的な方策が示されない中で、職員は役割を果たすべく最善の努力をしたと思います。そしてご利用者・ご家族には多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。さて、急変する大きな変化にどう対応するのか。これは誰もが頭をよぎることです。東日本大震災以降、想定外のトラブルが起きた時に、回復のために迅速に行動できる、機動性のある社会をどう作るのか、これは共通のテーマになったと思います。

熊谷晋一郎氏（車いすの医師、東大准教授）は「コロナ禍」と言われるこの状況は連帯に向かう良い機会になり得ると言います（NHKハートネットTV）。私はその言葉から3年前の『地域共生社会』の実現に向けて「を思い起こしました。「分野の枠を超えて連帯し（中略）豊かさを生み出す」ことが必要だと国はその中で強調してきました。

この「連帯」はゆるやかな社会的紐帯と理解できます。変化に対応できる社会のキーワードの一つがこの言葉だと思います。人と人の好ましいつながりは活力を生み出すことができるからです。私ども社会福祉法人はこうした取り組みの一翼を担っていると改めて思いました。

（理事長 安藤 真洋）

ふれっそ編集委員より

当法人ではこの間、新型コロナウイルス感染症防止対策にご利用者、ご家族のご理解、ご協力をいただきながら努めてまいりました。地域の皆様も見えないウイルスへの不安、休校や外出制限等のストレスの中、少しずつでも日常が戻る事を祈りながら過ごされていたことと思います。

ふれっそ編集会議も人との接触の機会を少なくするためにリモート形式になりました。また、地域に出向いての取材やインタビューも控えざるを得なかったため、今号は縮小版とさせていただきます。

今後は“新しい生活様式”が求められます。私たち編集委員も新たな会議、取材、編集の進め方を試行錯誤しながら、『ふれっそ』に当法人、そして一人ひとりの職員の想いを、引き続きお届けしたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

